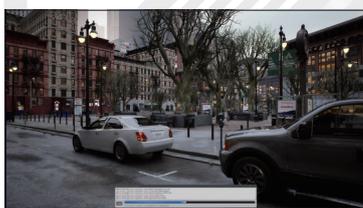


CGや映像、AI処理の性能も比較!

比較 どのCPUでも大きな差がない結果に



「SPECviewperf 15」スコア

◀テスト項目が膨大であるため、今回は利用時のパフォーマンスを見る「3dsmax_08」および「unreal_engine_01」のみ実行。画面解像度は4K&GUIスケールは100%で検証。

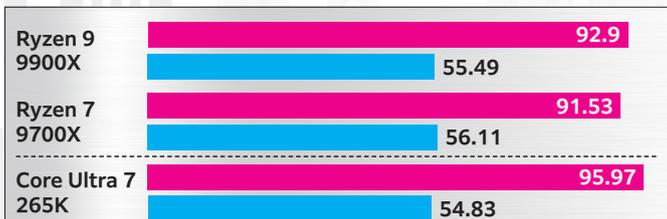
■ハイエンド

Better▶



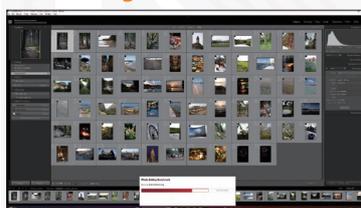
■メインストリーム

Better▶



■ unreal_engine_01 ■ 3dsmax_08

比較 RyzenはPhotoshopで差をつける



「UL Procyon v2.10.1861」Photo Editing Benchmarkスコア

◀「Photoshop」と「Lightroom Classic」を利用し、実際の写真編集ワークフローを実行した際の性能を比較する「Photo Editing Benchmark」でテストした。

■ハイエンド

Better▶



■メインストリーム

Better▶



■ Overall ■ Image Retouching ■ Batch Processing

比較 SmartAccess Videoにより差がついた



「DaVinci Resolve Studio v20.1.1」H.265 4K VBR (40Mbps)書き出し時間

◀DaVinci Resolve Studioを使い再生時間9分の4K動画を40Mbps VBRのMP4形式に書き出す時間を計測した。エンコード時の品質は「Prefer Quality」を選択している。

■ハイエンド

◀Fast

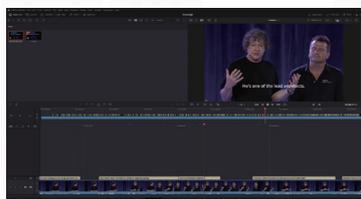


■メインストリーム

◀Fast



比較 Ryzen 7が285Kよりもやや勝る結果に



「DaVinci Resolve Studio」(文字起こし)

◀タイムラインに100分の動画を用意し、「AIによる文字起こし」機能で収録されている会話(英語)を分析し、サブタイトルのトラックとして出力する時間を計測した。

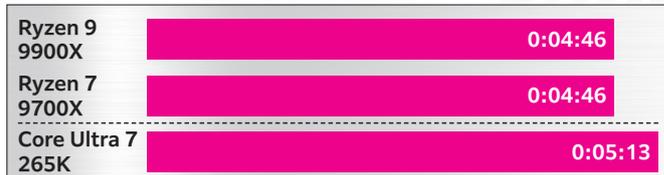
■ハイエンド

◀Fast



■メインストリーム

◀Fast



アプリによっては
Ryzenが勝つことも
消費電力は
圧倒的に優秀!

Ryzen 9 9000シリーズは、相性はあるもののCore Ultra 9 285Kと互角だったり、勝ったりすることもあり、クリエイティブ作業でも優秀な結果を示した。Ryzen 7 9700Xは物理コア数を抑えていることから、テストの結果は低めだが、今回テストした中では消費電力は圧倒的に低く、空冷クーラーでの活用も容易で、非常に扱いやすい。なお、Core Ultra 200SシリーズのLGA1851ソケットは今世代限りという噂も。長い目では、同じマザーボードで次世代も使えるRyzenの方が伸びしろがありそうだ。

「AMD HEROES」
で詳細をチェック!

